

## 南ユタ大学短期留学プログラム報告書

北海道教育大学函館校

地域協働専攻 2年 児玉香織

私は今回、初めて海外へ行きました。経由地である韓国の仁川空港や目的地であるアメリカ合衆国のラスベガスにあるマッカラン空港に降り立ったとき、外国に居るといった感覚が全くありませんでした。しかし、一歩外に出てみると、そこには日本語以外の言語が溢れていました。

シーダーシティのメインストリートには、とても可愛い雑貨屋がたくさんありました。日本食が置いてある店も何軒かありましたが、日本人が経営しているお店はありませんでした。しかし、そこには味噌汁や寿司があり、とても懐かしい気持ちがしました。出入国のために訪れたラスベガスも、課外活動で訪れたセントジョージもシーダーシティも北海道や、私の地元である秋田県とは比べものにならないほど気温が高かったです。9月になってようやく朝晩が涼しくなりましたが、日中は半袖で過ごしても汗をかくほどでした。



ブライスカニオン国立公園で

南ユタ大学では、アメリカ合衆国の、中でも特にユタ州の歴史や文化について学びました。ユタ州にはモルモン教という宗教があり、それとの関連性を見つけるのがとても楽しかったです。ホームステイ先の家族もモルモン教徒だったので、彼らからもたくさんのことを学びました。最初は授業がすべて英語で展開されることにとても不安を感じていましたが、最後は全く気にならな

くなりました。



シェイクスピア記念館で

今回のプログラムを通して、五分校の人たちとも交流を深めることができました。それだけでなく、現地で知り合った人たちとは今でも連絡を取り合っています。ユタ州の人々は皆とても親切でした。このプログラムに参加してとても良かったと思っています。今回の体験は自分の英語力の低さを痛感するという苦い点もありましたが、その分帰国後に英語学習への意欲が高まったので、とても良い経験になりました。機会があれば、またユタ州を訪れたいと思っています。

1ヶ月という短い期間ではありますが、本当に様々な体験をすることができます。次回このプログラムに参加される皆さんにとって、忘れられない1ヶ月間になるのではないのでしょうか。



学内で知り合った外国人と